

鹿児島県がん対策推進計画（第4期）目標値一覧【案】

【全体目標】

<区分欄：★ 新規，○ 継続，◎ 変更>

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース		
1	○	全がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	全体	66.8 (R4)	63.5	現行の県がん対策推進計画において、がんの年齢調整死亡率を12年間（H30→R11）で20%減少させることを目標とし、令和11年度を目標年度としているが、まだ目標値を達成していないため、同目標値を継続する	国立がん研究センター「がん統計」（人口動態統計）	
			男性	82.5 (R4)				80.6
			女性	51.5 (R4)				47.7
2	★	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	52.5% (R5)	60%	H30患者体験調査(国)の全国値が70.5%であることから、10%程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査		

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

【個別目標】

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実（がん予防）

(1) がんの1次予防

<区分欄：★ 新規，○ 継続，◎ 変更>

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース			
1	★	全がんの年齢調整罹患率	全体	381.7 (R1)	減少	健康かごしま21と同様の目標値とする	全国がん登録		
			男性	439.9 (R1)					
			女性	337.8 (R1)					
<生活習慣>									
2	○	1日あたりの食塩摂取量の平均値（20歳以上）	10.2g (R4)	7g	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査			
3	○	1日あたりの野菜摂取量の平均値（20歳以上）	271.4g (R4)	350g	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査			
4	◎	1日あたりの果物摂取量の平均値（20歳以上）	93.3g (R4)	200g	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査			
5	○	運動習慣者（1日30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者）の割合	20～64歳	男性	17.3% (R4)	30%	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査	
				女性	9.5% (R4)				30%
			65歳以上	男性	33.1% (R4)				50%
				女性	23.6% (R4)				
6	◎	睡眠で休養がとれている者の割合（20歳以上）	82.4% (R4)	90%	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査			
7	○	生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の割合（男性：40g以上、女性20g以上の者の割合）	男性	13.3% (R4)	12%	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査		
			女性	7.4% (R4)	5%				
8	◎	20歳以上の喫煙者の割合	12.9% (R4)	12%	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査			

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース	
9	○	20歳未満で飲酒をしている者の割合	高3	男子	0.8% (R4)	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査
	○		女子	0.2% (R4)	県民健康・栄養調査		
10	○	20歳未満で喫煙している者の割合	中1	男子	1% (R4)	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査
	○			女子	0.8% (R4)		県民健康・栄養調査
	○		高3	男子	1.5% (R4)		県民健康・栄養調査
				女子	0.4% (R4)		県民健康・栄養調査
11	○	妊娠中の喫煙をしている者の割合		1.8% (R3)	0%	健康かごしま21と同様の目標値とする	乳幼児健康診査問診回答状況
12	○	受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	29.1% (R4)	望まない受動喫煙のない社会の実現	健康かごしま21と同様の目標値とする	県民健康・栄養調査
	○		家庭	7.8% (R4)			県民健康・栄養調査
	○		飲食店	20.2% (R4)			県民健康・栄養調査
<感染症対策>							
13	○	肝炎ウイルス検査受診者数	B型	470,436人 (R3)	56万人以上	過去6年間と同等の増加を設定する	健康増進課調べ
	○		C型	410,427人 (R3)	50万人以上	過去6年間と同等の増加を設定する	健康増進課調べ
14	★	HPVワクチン実施率（3回目）		15.5% (R4)	30%	令和4年度の全国の実施率（3回目）が30.2%であるため、30%を目標値とする	健康増進課調べ

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

(2) がんの2次予防（がん検診）

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース	
15	○	がん検診受診率 (対象：40～69歳，子宮がんのみ 20～69歳) ※胃・大腸・肺は過去1年，乳・子宮頸は過去2年	胃	40.6% (R4)	60%	国の第4期基本計画と同様の目標値（60%）とする	国民生活基礎調査
	○		大腸	44.0% (R4)			国民生活基礎調査
	○		肺	51.4% (R4)			国民生活基礎調査
	○		乳	49.8% (R4)			国民生活基礎調査
	○		子宮頸	47.5% (R4)			国民生活基礎調査
16	○	(罹患患者数が急増する)40歳代・50歳代の乳がん検診受診率 ※過去2年	40歳代	55.9% (R4)	60%	同年代においても、国の第4期計画と同様の目標値（60%）とする	国民生活基礎調査
	○		50歳代	48.6% (R4)			国民生活基礎調査
17	○	(罹患患者数が急増する)20歳代・30歳代の子宮頸がん検診受診率 ※過去2年	20歳代	30.0% (R4)	60%	同年代においても、国の第4期計画と同様の目標値（60%）とする	国民生活基礎調査
	○		30歳代	54.5% (R4)			国民生活基礎調査

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

(3) 精度管理

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース	
18	○	市町村検診における精密検査受診率（上限74歳）	大腸	81.1% (R3)	95%	国の第4期計画と同様の目標値（90%）とする 国の第4期計画の目標値（90%）を上回っていることから、更なる増加を目指す	健康増進課調べ
	○		胃	91.5% (R3)			健康増進課調べ
	○		肺	93.5% (R3)			健康増進課調べ
	○		乳	94.8% (R3)			健康増進課調べ
	○		子宮頸	92.8% (R3)			健康増進課調べ
19	★	(罹患者数が急増する)20歳代・30歳代の市町村検診における子宮頸がん精密検査受診率	20歳代	89.1% (R3)	95%	子宮頸がんの同年代においても、95%を目標値とする	健康増進課調べ
	★		30歳代	94.0% (R3)	95%	国の第4期計画の目標値（90%）を上回っていることから、更なる増加を目指す	健康増進課調べ

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

2 患者本位で持続可能ながん医療の提供（がん医療の充実）

(1) がん医療提供体制等

<区分欄：★ 新規，○ 継続，◎ 変更>

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース	
<医療提供体制の均てん化>							
20	★	がんの診断・治療全般の総合評価（平均点）	7.5点 (R5)	8点	H30患者体験調査(国)の全国値が7.9点であることから、8点を目標値とする	がん患者状況等調査	
<がんゲノム医療>							
21	★	ゲノム情報を活用したがん医療について知っていると感じた患者等の割合	45.9% (R5)	50%	H30患者体験調査(国)の全国値(17%)を上回っているが、10割程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査	
<各治療法の充実>							
22	○	本人又は家族が納得いく治療を選択することができたと感じた患者等の割合	77.6% (R5)	80%	H30患者体験調査(国)の全国値が79%であることから、80%を目標値とする	がん患者状況等調査	
<チーム医療の推進>							
23	★	医療スタッフ間で患者に関する情報が十分に共有されていると感じた患者等の割合	68.6% (R5)	70%	H30患者体験調査(国)の全国値が69.1%であることから、70%を目標値とする	がん患者状況等調査	
<がんのリハビリテーション>							
24	○	拠点病院等におけるリハビリテーションに係る専門医療従事者数	理学療法士	147人 (R4)	147人以上	現状維持以上を目標値とする	拠点病院等現況報告
	○		作業療法士	75人 (R4)	75人以上	現状維持以上を目標値とする	拠点病院等現況報告

＜緩和ケアの推進＞						
25	○	拠点病院等における医師(がん等の診療に携わる医師・歯科医師)の緩和ケア研修修了割合	85.1%(R4)	90%	研修修了割合については例年80%台で推移していることから90%を目標値とする	健康増進課調べ
26	★	拠点病院等における医師・歯科医師以外の医療従事者の緩和ケア研修修了者数(年間)	48人(R4)	50人	H30～R4年の平均研修修了者数が約47人のため、年間50人を目標値とする	緩和ケア研修会実施報告
27	★	痛みや身体的な苦痛を抱える患者の割合	70.0%(R5)	60%	H30患者体験調査(国)の全国値(痛み19.1%、身体的苦痛34.7%)であることから、10%程度の減少を目標値とする	がん患者状況等調査
28	★	精神心理的な苦痛(気持ちのつらさ)を抱える患者の割合	62.4%(R5)	55%	H30患者体験調査(国)の全国値が24%であることから、10%程度の減少を目標値とする	がん患者状況等調査

＜妊孕性温存療法＞						
29	★	治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けた患者等の割合(患者40歳未満が対象)	29.4%(R5)	50%	H30患者体験調査(国)の全国値が52%であることから、50%を目標値とする	がん患者状況等調査

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度(令和11年度)を目標年度とする

(3) 小児がん及びAYA世代のがん対策

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
30	○	小児がん患者の長期フォローアップ外来を開設している拠点病院等の数	3医療機関(R4)	6医療機関	倍増を目標値とする	健康増進課調べ
31	★	多職種からなるAYA世代チームを設置している拠点病院等の数	6医療機関(R4)	13医療機関	全拠点病院等での設置を目標値とする	拠点病院等現況報告

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度(令和11年度)を目標年度とする

(4) 高齢者のがん対策

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
32	◎	地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制等について情報共有し、役割分担や支援等について検討を行う連携体制を整備している拠点病院等の割合	100%(R4)	100%	現状を維持し、連携体制の充実を目指す	拠点病院等現況報告

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度(令和11年度)を目標年度とする

3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築(がんとの共生)

(1) 相談支援及び情報提供

＜区分欄：★ 新規，○ 継続，◎ 変更＞

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
33	○	拠点病院等における相談員基礎研修修了者数(がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修全課程)	47人(R4)	47人以上	現状維持以上を目標値とする	健康増進課調べ
34	○	がん相談支援センターについて知っている患者等の割合	57.4%(R5)	65%	H30患者体験調査(国)の全国値が66.4%であることから、65%を目標値とする	がん患者状況等調査
35	○	拠点病院等及び指定病院の相談支援センターにおける年間相談件数	27,327件(R4)	30,000件	近年30000件を下回っているが、H28～30の平均相談件数は30,403件であることから、30000件を目標値とする	拠点病院等現況報告

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
36	★	患者サロンにおいてピア・サポーターを活用している拠点病院等の数	4医療機関(R5)	8医療機関	倍増を目標値とする	拠点病院等現況報告

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

(2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
37	★	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する説明を受けた患者等の割合	41.3%(R5)	45%	H30患者体験調査(国)の全国値(34.9%)を上回っているが、10%程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査
38	★	24時間体制訪問看護ステーションの割合	85.2%(R2)	92.7%(R8)	高齢者保健医療福祉計画と同様の目標値を設定する	高齢者生き生き推進課調べ

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

(3) 患者会等の支援

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
39	○	患者会の活動内容やその役割についての周知を図り、がん患者や家族等による啓発活動や生きがい、仲間づくり等の活動が発展・充実するように支援	実施(R4)	継続実施	継続して実施	—

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度（令和11年度）を目標年度とする

(4) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）

<区分欄：★ 新規，○ 継続，◎ 変更>

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
<就労支援>						
40	○	治療中に、職場や仕事上の関係者から治療と仕事を両立するための勤務上の配慮があったと回答した患者の割合	69.1%(R5)	73%	H30患者体験調査(国)の全国値(65%)を上回っているが、5%程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査
41	★	治療開始前に就労継続について説明を受けた患者等の割合	37.6%(R5)	40%	H30患者体験調査(国)の全国値が39.5%であることから、40%を目標値とする	がん患者状況等調査
<アピアランスケア>						
42	★	外見の変化に関する悩みを相談できた患者等の割合	49.1%(R5)	55%	H30患者体験調査(国)の全国値(28.3%)を上回っているが、10%程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査
43	★	アピアランスケア支援（医療用ウィッグ等）に係る助成事業を実施している市町村数	35市町村(R5)	43市町村	全市町村での事業実施を目標値とする	健康増進課調べ
<自殺対策>						
44	★	自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の数	3医療機関(R4)	6医療機関	倍増を目標値とする	拠点病院等現況報告
45	★	つらい症状には（医療スタッフが）速やかに対応してくれたと感じている患者の割合	76.2%(R5)	80%	H30患者体験調査(国)の全国値(75%)を上回っているが、5%程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査

＜その他の社会的な問題＞						
46	★	(家族以外の) 周囲からがんに対する偏見を感じる患者等の割合	23.4%(R5)	12%	H30患者体験調査(国)の全国値が5.3%であることから、50%程度の減少を目標値とする	がん患者状況等調査

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度(令和11年度)を目標年度とする

(5) ライフステージに応じた療養環境への支援

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
47	★	がん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	239医療機関	239医療機関以上	現状維持以上を目標値とする	在宅がん医療総合診療科の届出施設数
48	★	アドバンス・ケア・プランニングに取り組んでいるがん診療を行う医療従事者の割合	51.0%(R5)	56%	10%程度の増加を目標値とする	がん患者状況等調査

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度(令和11年度)を目標年度とする

4 これらを支える基盤の整備

＜区分欄：★ 新規、○ 継続、◎ 変更＞

No.	区分	指標	現状値	目標値	目標値設定の考え方	データソース
＜人材育成の強化＞						
49	◎	新九州がんプロ養成プラン(鹿児島大学)における3コース修了者数(事業実施:令和5年度~10年度)	—	95人(R10)	鹿児島大学における計画を目標値とする	鹿児島大学計画
＜がん教育及びがんに関する知識の普及啓発＞						
50	◎	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	26.8%(R4)	35%	がん理解促進事業(健康増進課)において、年間300校への外部講師派遣を目指しているため(300÷850校(R4調査校数)=35.29)	がん教育実施状況調査(文部科学省)
51	○	県がん対策推進企業等連携協定を締結した企業数	15社(R5)	20社	現計画における増加数を目標値とする	健康増進課調べ
＜がん登録＞						
52	◎	がん登録精度を示すMI比(がん死亡数のがん罹患数に対する比)	0.39(R1)	0.4~0.45	0.4~0.45程度が妥当と考えられているため	全国がん登録
53	○	がん登録精度を示すDCO率(死亡情報のみで登録された患者の割合)	3.1%(R1)	2%以下	10%以下であることが求められているが、既に達成済みであり、全国値が1.92%、九州内でも5県が2%以下のため	全国がん登録
＜患者・市民参画の推進＞						
54	★	県がん対策推進協議会への患者を代表する委員の参画	参画	参画	継続して参画を推進する	—
＜デジタル化の推進＞						
55	★	がん患者やその家族等の相談支援について、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している拠点病院等の数	9医療機関(R4)	13医療機関	全拠点病院等での実施を目標値とする	拠点病院等現況報告

※ 目標年度の記載がないものは、計画期間の最終年度(令和11年度)を目標年度とする